



I君(ダウン症)の叔母様からのお手紙(2008.1.3)

ネージュの皆さま

先日は大変お世話になりました。1月3日にプログラムを受講した、Iの叔母です。
無事にプログラムを終了して、東京に帰って来て本人ともどもほっとしています。
ありがとうございました。

今回は体も大きくなり、体力を持て余し気味になっていた甥っ子のお正月休みの過ごし方を考えてのスキー旅行でした。学校の長期休暇の余暇時間の過ごし方は、多くの障害のある子供たちの課題だと思います。

スキーがどんなものかもほとんどイメージできていない子供を送り出すにあたり、母親の私の妹も心配なことも多かったと思います。スキー靴がきついと言って履かないのではないか、板が重いとゴネるのではないか、リフトが怖いと暴れないか、などなど・・・

概ね言うことを聞けますが、一旦こだわり始めるとなだめてすかして叱って・・・と、どうにもなくなることもありますので。私はどうしてもダメなら雪遊びで一日終わっても良いというつもりで行きました。

ですが、そんな心配は杞憂でした。

コーチの話に従って動けたこと、あれこれ嫌と言わなかったこと、

私はつきそいでしたが、いなくても大丈夫なほどだったこと。

思った以上にスキー初体験ができたことをとても嬉しく思いました。

叔母バカですが、肉親が思っている以上のことがやれるのだと感心して実家で待っていた妹たちに報告しました。

もちろん、内海コーチに手取り足取りしていただいていたのですが、コーチの指示に従って動けていることだけでも、私としてはかなりの満足でした。

帰宅して、楽しかった？またスキーに行きたい？の家族の問いかけにはとくに返事のない甥っ子ですが、ゲレンデを降りて来た時に、「もう一回！」と言っていたことで、私は今回連れてきて良かったと思いました。

前夜は、甥っ子は午前3時頃まで眠れませんでした。

あまり話すのが得意でない甥っ子ですが、本人なりに緊張していたのだと思います。

睡眠不足でスポーツに臨むのはご法度ですが、修学旅行など学校行事の宿泊も毎回ほとんど眠れないようなので、これは仕方ありません。

ネージュのキャストの皆さまは連日のことで大変疲れが溜まる時期かと思いますが、どうぞお身体を大切にしてください。

また、お会いできる日を楽しみにしています。

このたびは、大変お世話になりました。ありがとうございました。